

2004/10/04

生化学会シンポジウムS3参加のお誘い

九州大学生体防御医学研究所・神田大輔

10月13日(水)～16日(土)に横浜で第77回生化学会大会が開かれます。第1日目のシンポジウム「タンパク質構造研究の動向：将来は？」へ参加をお誘いするお知らせです。

国外からは膜タンパク質では絶好調の岩田先生の講演が久しぶりに聞けますし、Tina Izard 先生にも接着分子の膜直下のタンパク質間相互作用によるシグナル制御の最新結果を披露して頂きます。甲斐荘先生は生化学会での都立大現役での最後の講演です。皆様の参加を是非お待ちしております。

日時：10月13日(水), 12:30～15:30

場所：パシフィコ横浜, 会場C302 (3階)

シンポジウム番号：S3

タイトル：「タンパク質構造研究の動向：将来は？」

オーガナイザー：箱嶋敏雄(奈良先端大), 神田大輔(九大)

1. タンパク質構造研究の動向：将来は？
箱嶋敏雄(奈良先端大、CREST, JST)
2. Helical Bundle Conversion: Structural Alterations as Relays in Integrin Signaling
Tina Izard (St. Jude Children's Res. Hosp.)
3. Membrane Proteins: The Last Frontier in Structural Biology
岩田 想(Imperial Coll. London)
4. 結晶構造に基づく脂肪酸 β 酸化酵素複合体のチャネリング機構
森川耿右(生物分子工学研)
5. 立体整列同位体標識(SAIL)法—蛋白質 NMR 分光学における新しい同位体利用技術
甲斐荘正恒(都立大・理)